

新チューリップタワー完成式について

主催者	砺波市
日時及び場所	令和3年4月22日（木）午前10時より <20分程度> 砺波チューリップ公園内 北門前広場（チューリップスカイウォーク登り口）
行事 又は 事業の概要	<p>1 趣旨 第70回記念となる2021となみチューリップフェアを目指し、令和2年7月より整備を進めておりました新チューリップタワーが令和3年3月を以て完成したことから、関係者で完成式を実施するもの。</p> <p>2 内容 ・市長挨拶 ・事業経過報告 ・祝辞 ・来賓紹介、祝電披露 ・テープカット ・登り初め（チューリップスカイウォーク～新チューリップタワーへ登る）</p> <p>3 出席予定者 市長、国会議員、県議会議員、市議会議員、自治振興会長、国土交通省北陸地方整備局長、富山県土木部長、チューリップスカイウォーク命名者他 約80名</p> <p>4 事業費 新チューリップタワー 約2億円 チューリップスカイウォーク 約1.2億円</p>
特記事項	
問合せ先	所属 砺波市建設水道部 都市整備課 小西・南部 電話番号 0763-33-1111（内線241・242）

新チューリップタワー概要

タワーの頂点は 26.0m（現タワーの 21.9m より、約 4m 高くなります）

展望台高さ 12.6m（現タワーの 11.4m より、約 1m 高くなります）

スロープ（チューリップスカイウォーク）を常設化し、ユニバーサルデザインに配慮
・・・スロープを登るにつれ、来園者の視界がだんだん変化していくという演出が
期待できます

二重らせん階段で上下 2 つの動線

・・・上り下りの動線を分離することでチューリップフェア時の混雑の解消が期待
できます

花オブジェ

・・・国民に慣れ親しまれている童謡「チューリップ」の歌にちなんで、赤・白・
黄の 3 種の花オブジェを設置。それぞれ、富山オリジナル品種である、赤：
とやまレッド、白：白雲（はくうん）、黄：黄小町（きこまち）をモチーフと
したデザインとしています

1 つの花オブジェの大きさ・・・赤色・黄色 高さ約 2.0m、幅約 1.6m
白色 高さ約 2.0m、幅約 1.5m

重さ・・・約 400kg/個

発砲スチロールで成型し、表面は F R P ライニング仕上げ（繊維強化プラ
スチック）

葉の大きさ 高さ約 15.0m、幅約 1.4m（最大）

展望台の面積 $A=47.7 \text{ m}^2$

展望台半径 4.5m、螺旋階段部半径 2.25m ($4.5*4.5*\pi - 2.25*2.25*\pi = 47.7 \text{ m}^2$)

階段 63 段（20cm×63 段=12.6m（展望台））

【旧チューリップタワー】

1972 年（S47） となみチューリップフェア第 20 回を超えたことを記念し、建設
第 21 回フェアから供用

※供用開始から相当年が経過し、老朽化から安全性の確保が課題となっていた

2017 年（H29） 市民等から意見・デザイン等募集
プロポーザル方式により設計業者を選定

2018 年（H30） 実施設計
チューリップスカイウォーク（連絡園路）整備工事着手

2019 年（H31） チューリップスカイウォーク（連絡園路）完成（～R2.4）

2020 年（R2） 新チューリップタワー整備工事着手、完成（～R3.3）